

平成 25 年 11 月 15 日

11 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は天候不順な中、現場はフル稼働が続く。入荷量は各地で特別市が開催されており、平年の水準まで回復。荷動きは好調な製品需要を背景に、製材工場の活発な原木手当が続いている。スギは柱材・中目材ともに依然引合い強く好調。ヒノキは特に柱材・土台材の引合い強く、中目材も良好。大型製材工場を中心に原木手当に奔走している状況で、全樹材種とも大幅な値上がり。近年になく急騰した市況は 11 月に入り天井感が出ている。悪天候の影響で遅れていた出材も回復し、材不足は解消される見通し。群馬の製材工場の操業状況はそこそこの状態。原木の入荷は少なく、在庫もやや少なめ。製品の販売は公共物件や駆込みの民間住宅で、集成材使用物件に追われている。製品在庫は少ない。原木は出材少く高騰中。ヒノキは無い物高でスギはそろそろ天井か。県単補助は 10 月に 100 棟と好調で、予算不足になる恐れ。

2. 米材

米国丸太は、中国、地場製材共に買いが旺盛で、IS クラス以上は尺下を含む全てが前月比 \$ 20 アップ。カナダ丸太も米国同様セカンドは強い。オールドは先月同様無いもの高。産地の港頭在庫は、出荷が入荷を上回り、港頭在庫は減少の様様。ウェアハウザー社の 11 月積み米マツ IS ソートは、前月比 \$ 20 アップで推定 \$ 850。米材丸太の入・出荷、在庫とも横這。国内大型港湾製材工場の荷動は前月同様 KD 主体に堅調。内陸部製材工場は、工場によるバラツキはあるが、総じて低調で当用買いが続く。米製材品の TLT(東京木材埠頭) 10 月入荷量は 40.7 千 m^3 で、前月比 15.1%増。出荷量は 36.2 千 m^3 で同 0.6%増、在庫量は同 6.0%増。産地情勢は大手 SPF 製材 2 工場の閉鎖発表により RL 紙上の SPF2×4 価格は先月比 4.1%アップ。沿岸の DF/HEM 丸太の出材は供給タイトで、越冬在庫の不足が出る恐れ。産地価格は J グレード角、割物とも \$ 15-20/ m^3 程度下落。これは国内挽よりも輸入物のほうがコスト高く、売行きが鈍り日本側からの値下げ要求が強まったため。荷動き・先行きは、先月とほぼ変わらず、入荷が増えた分だけ在庫量は今年最高水準に。今後は国内挽きよりも割安感が出れば動きは改善される見込み。産地丸太の供給はタイトで、米国の景気が好調なので J グレードはこれ以上大幅に下る見込みなし。

3. 南洋材

サバは、少しづつ雨季の様相。景気低迷による生産調整も加わり出材は低調で、価格は横這から強気の気配。製品価格は下げ止まり。サラワクは一部で天候が悪く、今後の出材減を見越し、インド等のバイヤーの買い付けが顕著。特に、低級材の原木価格は強含み。製品価格は横這の状況。PNG・ソロモンは中国向け原木輸出が堅調な中、天候不順により出材が低迷気味で、価格は強含みに転じる気配。南洋材丸太の入・出荷、在庫とも横這。原木の販売は合板用、製材用とも変化なし。製材品、特にメルクシーパイン等の各集成材の動きは横這から低迷、一部に在庫切れが見えても市場に影響は見られず。ラワン等の平割、セランガンバツ等のデッキ用材は荷動き価格ともに横這。

4. 北洋材

ロシア極東はここに来て夏の大雨の影響が出て、アムール材のシーズン終盤の配船が予定の半分以下の状況。一方で日本国内のカラマツのユーザーからの引合い強く、今期も11月から1月の端境期に丸太不足が懸念。シベリア材は気温がマイナス10度程度に低下したため、一部で冬山造材がスタート。順調に行けば12月下旬に日本向け初配船。富山新港の10月丸太入荷量は5千 m^3 （エゾマツ5千 m^3 、カラマツ0、アカマツ0）、製品は6千 m^3 。価格動向は、丸太は全般に横這い、製材品はアカマツ輸入完成品が京浜港頭在庫減少せず弱含み。荷動は丸太、製材品とも低調。在庫状況は1.5ヶ月位。国内製材工場はエゾマツ、アカマツ丸太、原板とも不採算。稼動状況は採算合わず生産調整。

5. 合板

原料丸太のうち国産材は、ここにきて特にスギが強い。南洋材も強含みからはっきりと強気に転換。米材も相変わらず強気での推移。9月の国内合板生産量23.8万 m^3 のうち、針葉樹合板は22.3万 m^3 で、出荷量は21.9万 m^3 と大量生産、大量出荷が続き、在庫量は14.5万 m^3 で依然低水準のまま。販売価格は、全体的な出荷量が依然好調なためメーカーも強気姿勢を崩していない。しかし、高値安定が続いていることから、警戒感があるのも事実。国産針葉樹合板の相場は大局的に見れば大きな変化はないが、長尺物、12mm、ネダノンに不足感があり一部に欠品も見られ、トラックも手配しづらい状況が続く。輸入合板の荷動きは12mm系を中心に悪くないが、価格は9月に一部商社が出した安値を未だに引きずっており、どこも価格転嫁できず苦慮している状況。先行き針葉樹合板は、旺盛な需要に支えられ、また、在庫量も低水準なことから、メーカーの強気は当分続く模様。輸入合板は入港量は減っているものの港頭在庫はさほど減って

いない。価格転嫁できるまでもう少しの辛抱といったところ。

6. 構造用集成材

原料ラミナは契約量が少なく入港は減少傾向。国内メーカーのラミナ在庫は1.5~2ヶ月程度。国産集成材の受注・販売・荷動きとも良好で、来年1月までは好調が続く模様。在庫は横這から若干減少。価格はピーク時のものが入港中で、1€133円のため下がらない。輸入集成材は3rd契約では国内メーカーがほとんどスキップしたため、11月入港分は激減の模様。住宅着工は11月にピークを迎えるが、基礎工事等職人不足のため、プレカット工場では加工した部材が出荷できず停滞ぎみ。ヒノキの丸太高騰でヒノキ集成材は値上げ。

7. 市売問屋

国産材の構造材は、スギ・ヒノキともに原木出材の減少により、相場は強基調、入荷も少く動きは良い。特にスギ 10.5 柱角は入荷少く対応に苦慮。造作材は、スギ、ヒノキ共に小粒ながら動きは依然堅調。特に、建具用スギ桁平割は動き良い。外材の構造材は、特に不足品はなく動き堅調。スプルー、ピーラ、ベイヒバの桁平割は依然堅調。造作材はスプルー建具用が入荷少い。市日の来場者数は特に変化ないが、市日以外の来場・引取は増加。買方の仕事量が増え久しぶりの活況。特にスギ柱、ヒノキ土台は欠品も出てきた。消費税増税の前倒し需要が表面化した模様。

8. 小売

国産材の構造材はスギ保合、ヒノキ柱は保合で土台は強保合。外材はアカマツ垂木弱保合、ベイツガKD角、平割り、SPFいずれも保合。造作材はスプルー良材強保合、ナラ・タモ保合。集成材はWW、RW梁、柱とも弱保合。合板は保合、長尺針葉樹合板は品薄、じり高。プレカット工場の動向は、構造計算を要する物件は見積りに時間かかる。加工は順調で、価格は保合。工務店の仕事は解体業者や基礎業者が忙しく、新築物件の上棟に遅れ。大工不足も顕著でこの状態は当分続くと予測。

11月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	↘	→	↘
北洋材	丸太	↗	↗	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→	↘	↘

矢印の表示は本月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	↘	↘	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m) 2等	↗
			スギ中丸太(3.65m) 2等	↗
			ヒノキ柱材(3m) 2等	↗
			ヒノキ中丸太(4m) 2等	↗
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×4m	→
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↗	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	↗	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ カスケード(カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8'' 13'	→
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	→
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
		メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→	
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	→
東京・問屋店頭 渡し価格		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m) 特等	↘
			アカマツ(3.0×4.0×4m) 特等	↘
			カラマツ(10.5×10.5×4m) 特等	※
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↘
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↘
	欧州産	〃	スギ 無化粧 10.5×10.5×2.98m	↘
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→